

活字に親しむ

校長 池田 浩二

7月11日から、二中には学校で定期購読しているものとは別に9部の新聞が届けられています。「教育に新聞を」(NIE: Newspaper in Education)という活動の一環として、授業で新聞を扱っている学校が増えています。本校でも新聞社の協力をいただき、すべてのクラスと1組、そして図書室に新聞を置き、活字に親しむ機会を増やそうと考えています。

小中学生の活字離れや読解力の不足が言われていますが、先日参加した関東甲信越中学校校長会の中で紹介された、国立情報学研究所教授の新井紀子先生のプロジェクトの内容で、小中学生の読解力に関するものがあり関心を持ちました。先生のプロジェクトで世の中から注目を浴びているものは、人工知能(AI)を搭載したロボットを東大に合格させようという「東ロボくん」プロジェクトですが、そこで紹介されたのは「東ロボ君」プロジェクトの過程で、中高生を対象に日ごろ使用している教科書の文章が正確に読めているのかどうかを調査する取り組みをしているという内容でした。

帰校してインターネットなどで調べてみると、中学校や高校の教科書の文章からつくったいくつかの問題と、その調査結果が紹介されていました。表の中学校社会科の文章で作った問題では、正解を選んだ中学生は53%にすぎなかったということです。(日本経済新聞 2016/03/30)

学習活動の基本ともいえるべき教科書の文章がしっかりと読み取れていない現実はショックですし、土台のないところに何かを積み上げようとしても難しいのかもしれませんが、しかし、まずは活字に親しむ機会や環境を作っていくことから始めたいと思っています。

新井先生はこうも書かれています。「中学校段階できちんと読むことができれば、いくらでも学力は伸ばせる。それができて初めて、国際化やコミュニケーション力の強化といった取り組みが生きてくると思う」

人間の読解力が低下している

仏教は東南アジア、東アジアに、キリスト教はヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニアに、イスラム教は北アフリカ、西アジア、中央アジア、東南アジアにおもに広がっている。

オセアニアに広がっているのは()である。

A ヒンドゥー教 C イスラム教
 B キリスト教 D 仏教

正解 B

公立中6校の回答分布	
A	0%
B	53%
C	12%
D	35%

(注)東京書籍の中学校社会科教科書「新しい社会 地理」から

✿音楽鑑賞教室✿

6月24日（金）なかのゼロホールに於いて、音楽鑑賞教室が行われました。

東京都交響楽団の演奏で、本校からは2年生と1組が参加しました。

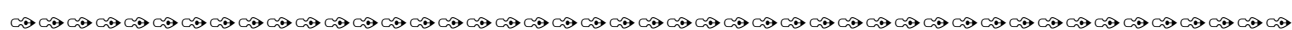
金管楽器の華やかな迫力のある音色で、映画『スターウォーズ』のメインタイトルから始まり、最初の一曲目から生の演奏に引き込まれていきました。

木管・金管・弦・打楽器など、グループに分かれてのアンサンブルでは、チェレスタという鍵盤楽器が初登場しました。『ハリーポッター』の曲を演奏してくださり、魔法のような不思議な音色に更に興味深々で次の曲に引き込まれていきました。

そして、「ダダダダーン」のインパクトのあるフレーズが耳に残る、ベートーヴェンの交響曲第5番『運命』、歌劇『カルメン』、交響詩『わが祖国』より【モルダウ】と、どこかで聞いたことのある名曲で、あっという間の1時間でした。アンコールでは、ブラームスのハンガリア舞曲第5番が演奏されました。

生の演奏に触れ、鑑賞態度も良く、貴重な経験になりました。

保護者の皆さまにも、多数、聴きに来ていただき、ありがとうございました。



✿第一回オープンキャンパス✿

6月30日（木）に近隣の中野本郷小学校、桃園小学校、向台小学校の3校の6年生を迎えて、第1回オープンキャンパスが行われました。小学生は中学校の授業と部活動の様子を見学。2年生の理科の授業では、広島動物園から借りたシマウマやライオン・ヒヒの骨格標本を見比べながらの学習に、見学に訪れた小学生も興味津々でした。部活動見学では、茶道部の部長さんの説明に、小学生も姿勢を正して聞いていたり、1年生男子の茶道のお手前に、小学時代を知る引率の小学校の先生は、礼儀正しさと成長ぶりに、ただただ驚いて感動されていました。音楽室では吹奏楽部の迫力のある演奏、屋外では中学生の力強いプレーに歓声があがり、各部の代表生徒による部活紹介には耳を傾けて聞ける6年生で、終始、和やかな雰囲気の見学となりました。第二回は、9月13日（金）に行われ、小学生が実際に二つの部活動を体験することになっています。



✿I組宿泊学習✿

7月7日（木）～8（金）の1泊2日で夏の宿泊に行きました。宿泊先は代々木のオリンピックセンターです。限られた時間で家庭から離れ、自分でできることはする、また、増やすという目標をもって取り組みました。生徒の様子は、決められた時間で物事をやり終えたり、班行動をする上で周りの仲間に声を掛け合ったりという行動が見られました。そして、2日目は豊洲にあるキッザニア東京に行き、さまざまな仕事の体験をしました。年明けに、2泊3日の冬のスキー宿泊があるので、この経験と今後の学校生活で過ごしてきたことを活かしていけたらと思います。



❀ 道徳授業地区公開講座 ❀

7月2日（土）3時間目に、地域の保護司さんにご協力していただき、道徳授業を行いました。1年生はDVDを視聴しながら「思いやり」について考えを深め、3年生はDVDをもとにグループで



ロールプレイをして意見を交流しながら、思いやりの心を学びました。1組は漫画や行事などを通じて、「人としての優しさ、言い返さない強さ、一緒にやる楽しさ」を学びました。また、2年生の授業には保護司の方が入って下さり、「思いやりと社会参画」を主題におきながら、生徒と質問のやり取りをしました。保護司の方々からは、「社会を明るくする運動や、地域と連携して授業を行っている取り組みが素晴らしい。こうして、地域の中に様々な形で

大人が関わっていることや、保護司の仕事に理解してくれたら、少しずつ社会が明るくなっていくのではないかと。二中から広めていっていただきたい」という感想をいただきました。生徒からも「保護司さんとまたお話ししたいと思った」等の感想があり、充実した授業となりました。



❀ 進路学習会 ❀ 【第1回 進路説明会】

6月11日（土）に【第1回進路説明会】を3年生生徒と保護者を対象にアリーナで行いました。

最初に、学校長より本校の進路指導と推薦基準についての話をしました。

推薦については、具体的に「①学校生活のルールを守ることができる ②学習に意欲的に真剣に取り組んでいる ③学校内外の諸活動にも積極的に取り組んでいる ④欠席や遅刻、早退が少なく、基本的な生活習慣が確立している ⑤高等学校の示す推薦基準を満たしている」などの観点から、『中学校長が推薦者としてふさわしい生徒であるか』を認めた生徒を推薦する話をし、改めて推薦基準を確認しました。

その後、進路指導主任より、本校の【進路指導の目的】と【具体的な進路選択】として、①将来の職業、希望する生き方を考える、②生徒自身が進路を切り拓きながら、周囲の人のアドバイスに耳を傾ける、③「行ける所」より「行きたい所」を自己の責任において選択することが大切であるという内容の話をしました。また、平成29年度の都立高等学校、私立高等学校の入試傾向と今後の予定（進路希望調査、面談）について話をしました。進学を考えている場合は、基礎学力を基本に、確かな学力の定着が行われていないと厳しいのが現状です。

自分の進路を見据えて、学習や諸活動をスタートしている生徒は良いのですが、真剣に取り組む姿勢に切り替えられていない生徒については、これからの第1回定期考査から夏休みの取り組みと学習計画をどう取り組めばよいのかについて話をしました。

高校見学に積極的に参加し自分の目で確かめること、会場模試等を何回か挑戦し、自分の学力を知ること必要となってきます。生徒自身が自己の実力と適性を把握し、情報を集め、進路選択をしていくためには、学校と生徒、親と子がしっかりとコミュニケーションをとっていきながら決定していかなければなりませんのでこれからもよろしくお願いいたします。

❀ I 組食堂 ❀

6月22日（水）にI組食堂が行われました。今回のメニューは「親子丼」と「鮭のムニエル」で、60名を超えるお客様が来店されました。

普段の授業で行っている調理とは違い、お客様の注文を受けてから調理や



盛り付けを行うので大変です。温かいものお出しすることや見た目を大切にしながら作りました。今回、事前に本番同様のリハーサルを行ったため、当日は予定よりも早く準備が終わりました。開店後もスムーズにお客様に食事を提供することができました。この行事を通して、働くことの大変さや楽しさを学ぶことができたと思います。

特別支援教育の取り組み ～二中での取り組み～

二中では、日常生活や学習活動で、困っている生徒に対し、本人の困り感の背景にあるものが何か、また、どういう指導が効果的なのかということを全教職員で共通理解し取り組んでいます。たとえば、いつも友達とトラブルをおこしてしまうAくん。原因は些細なことなのに、大きなケンカにいつも発展してしまう。背景には相手の気持ちをくみ取ることが苦手だったり、状況を把握することが苦手で、トラブルになってしまう。

また、何度注意されても、いつも忘れ物をしてしまうBさん。背景にはちょっとしたことを記憶するのが苦手なタイプだったり。これらのように、本人の努力とは、別なところに原因があることもあります。このような背景について、本人の努力不足なのか、得意・不得意の問題なのか、専門家の力を借りることもあります。巡回相談の臨床心理士の方から、教員へアドバイスをいただいたり、教育センターや医療機関と連携をとりながら、生徒一人ひとりにあった対応ができるように取り組んでいます。もし、気になることがありましたら、ご遠慮なくお話しください。

教育相談部メンバー

校長・副校長・小宮山（1年）・渡邊（2年）

矢作（3年）・杉山（I組）・齋藤（SC）

渡部（コーディネーター）・神棒（養教・コーディネーター）

☆夏季休業中の緊急連絡について☆

夏季休業中における保護者から緊急連絡について、次のようにお願いします。月曜日から金曜日は日直の教員が必ず勤務しておりますので、その旨を日直の教員にお伝えください。土曜日・日曜日は副校長専用休業中連絡先 080-2073-8088 にご連絡をお願いします。